

1. 図書館のあゆみ

明治44 (1911) 年 7 月	・ 東郷慎十郎氏等の寄付を基に、町立図書館として、鎌倉小学校（現在の第一小学校）内に設立
大正12 (1923) 年 9 月	・ 関東大震災で倒壊のため閉館、のちに第一小学校の教室で再開
昭和11 (1936) 年 5 月	・ 間島弟彦夫人愛子氏からの建設費寄付により、大町蔵屋敷の御用邸跡（現在の御成小学校）に新館設立（10月開館）
19 (1944) 年 3 月	・ 軍に接收され閉館
21 (1946) 年 6 月	・ 図書館再開
25 (1950) 年 7 月	・ 図書館法施行にあたり、「鎌倉図書館」を「鎌倉市図書館」に改称
37 (1962) 年 6 月	・ 団体貸出開始
45 (1970) 年 6 月	・ 腰越貸出所開設
46 (1971) 年10月	・ 資料の複写サービス開始
12月	・ 大船子ども文庫開始
48 (1973) 年 4 月	・ 深沢子ども文庫開始
49 (1974) 年10月	・ 中央図書館開館（10月1日）
12月	・ 中央図書館に視聴覚ライブラリー開設、16ミリ映写機類の貸出開始
50 (1975) 年11月	・ 中央図書館で「おはなし会」開始、52年から全館で定期的を実施
52 (1977) 年10月	・ 視覚障がい者への録音図書郵送貸出サービス開始
55 (1980) 年 5 月	・ 深沢図書館開館（深沢行政センター内）、深沢子ども文庫廃止
57 (1982) 年10月	・ 大船図書館開館（大船行政センター内）、大船貸出所、大船子ども文庫廃止
61 (1986) 年 8 月	・ 中央図書館でCD貸出開始
62 (1987) 年 4 月	・ 玉縄図書館開館（玉縄行政センター内）
平成 2 (1990) 年 4 月	・ 中央図書館でビデオ貸出開始
	・ 中央図書館に外国語図書コーナー開設
3 (1991) 年 4 月	・ 祝日開館試行
6月	・ 神奈川県図書館情報ネットワーク（K L - N E T）加入
4 (1992) 年 4 月	・ 祝日開館本実施
7 (1995) 年 7 月	・ 市内全館コンピューターオンラインシステム導入
8 (1996) 年10月	・ 夜間開館試行（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
9 (1997) 年 8 月	・ 大船図書館にAV（視聴覚）資料配置
11月	・ 第1回「リサイクル図書展」開催（平成11年度から「図書リサイクル」に名称変更、平成18年度まで毎年1回開催）
10 (1998) 年 2 月	・ 投書箱「利用者の声」設置
10月	・ 藤沢市図書館との広域利用実施
	・ 市のホームページに図書館のページを開設
11 (1999) 年 3 月	・ 腰越図書館開館（腰越行政センター内）、AV資料配置
	・ 夜間開館開始（平日の木・金曜日、17：00～19：00）
4月	・ 「おひざにだっこのおはなしかい」各館で開催、以後定期的を実施
7月	・ 図書館所蔵資料のインターネット検索サービス開始
12 (2000) 年 3 月	・ 「鎌倉市図書館サービス計画」策定
8月	・ 玉縄図書館にAV資料配置

- | | | |
|-------------|-----|---|
| 13 (2001) 年 | 4月 | ・定期休館日を月1回(毎月最終月曜のみ)とする:開館日の拡大 |
| | 7月 | ・「としょかんいんになってみよう!(一日図書館員)」開催始まる |
| | 8月 | ・国立国会図書館総合目録ネットワークへの参加承認される |
| | | ・深沢図書館にAV資料配置 |
| | 9月 | ・「鎌倉市図書館資料管理方針」が図書館協議会の討議を経て策定 |
| | 11月 | ・第一期「おはなしボランティア養成講座」開催 |
| | 12月 | ・市内各図書館にCD-ROM検索用パソコン導入 |
| 14 (2002) 年 | 5月 | ・JR鎌倉駅構内に返却ポストを設置 |
| | 10月 | ・中央図書館に検索用インターネットコーナーを設置 |
| 15 (2003) 年 | 4月 | ・各地域館に外国図書配置 |
| | 7月 | ・「図書館子ども会議」(子ども利用者懇談会)開催 |
| | 10月 | ・鎌倉女子大学との協力開始 |
| 16 (2004) 年 | 3月 | ・コンピューターシステム更新、携帯電話からの蔵書検索サービス開始、館内の検索用端末(OPAC)からの予約受付開始等 |
| | 4月 | ・インターネットでの予約受付開始 |
| | | ・マンガの貸出開始 |
| | 10月 | ・DVD貸出開始 |
| | | ・「鎌倉市図書館資料管理基準」が図書館協議会の討議へ経て策定 |
| 17 (2005) 年 | 4月 | ・子ども向け行事でのボランティアとの協働開始 |
| | 7月 | ・ブックスタート開始 |
| | 12月 | ・「図書宅配便」「障がいのある方への無料郵送サービス」開始 |
| 18 (2006) 年 | 10月 | ・地域図書館に検索用インターネットコーナーを設置
(腰越図書館のみ11月設置) |
| 19 (2007) 年 | 1月 | ・中央図書館に「からだといのちの図書コーナー」を設置 |
| | 4月 | ・JR大船駅に返却ポスト設置 |
| | 10月 | ・オンラインデータベースの導入 |
| | | ・デジリーの郵送貸出開始 |
| 20 (2008) 年 | 2月 | ・中央図書館に「よむべえ」導入 |
| | | ・「鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定 |
| | 3月 | ・中央図書館に多目的エレベーターの設置 |
| | 4月 | ・図書リサイクルコーナーを全館に設置 |
| | 9月 | ・図書館協議会市民委員の公募開始 |
| | 10月 | ・市民協働事業としてファンタスティック☆ライブラリー2008を開催 |
| 21 (2009) 年 | 9月 | ・図書の貸出点数を10冊に拡大 |
| | 10月 | ・コンピューターシステム更新 |
| | 11月 | ・「あかちゃんと楽しむおはなしかい」初開催、以後各館で年2回開催 |
| 22 (2010) 年 | 7月 | ・市内小・中学校教職員対象図書館実務研修開始 |
| | 11月 | ・デジリー再生機器「プレクストーク」貸出サービス開始 |
| | 12月 | ・高校生によるポップ大賞を選ぶイベントを開催 |
| | | ・電子図書館の実証実験実施(23年3月まで) |
| 23 (2011) 年 | 3月 | ・東日本大震災:協働事業2件中止、夜間開館の一時中止 |
| | 7月 | ・鎌倉市図書館開館100周年記念式典開催 |
| | 9月 | ・ツイッター開始 |
| | 10月 | ・図書館振興基金条例交付、基金の募金活動開始 |

- | | | |
|-------------|-----|--|
| 24 (2012) 年 | 3月 | ・百年史資料、所蔵貴重資料整理事業 |
| | 4月 | ・寄贈された政党新聞の閲覧開始 |
| | 10月 | ・「ぬいぐるみのおとまり会」初開催 |
| | 12月 | ・広告募集開始 |
| 25 (2013) 年 | 1月 | ・図書館福袋の貸し出し始まる |
| | 2月 | ・「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」策定 |
| | 5月 | ・暮らしのお役立ち講座@としょかん初開催 |
| | 6月 | ・本の修理講座開始（中央図書館） |
| | 10月 | ・大船図書館、耐震工事実施による部分開館（翌年2月まで） |
| 26 (2014) 年 | 3月 | ・国際ソロプチミスト鎌倉から読書活動推進のための軽自動車の寄付を受ける |
| | 4月 | ・「第2次鎌倉市図書館サービス計画」策定 |
| | 7月 | ・国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを提供 |
| | 12月 | ・鎌倉国宝館連携講座開始 |
| 27 (2015年) | 3月 | <ul style="list-style-type: none"> ・図書館新システム稼動（WEBリクエスト、デジタル化資料の公開等） ・マンガの予約受付開始 ・鎌倉市川喜多映画記念館連携講座初開催 ・サイエンスカフェ初開催 ・団体貸出を廃止 ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より御礼状授与 |

平成 27 年度のあゆみ

- 4 月
 - ・ こどもの読書週間展示（4 月 23 日～5 月 12 日）
 - ・ 本の修理講座 ＊この後、年度内 9 回開催
- 5 月
 - ・ 鎌倉国宝館連携講座「鎌倉の至宝～長谷寺の名宝～」
 - ・ 展示「こんなときこんな絵本」（中央図書館）
- 6 月
 - ・ 暮らしのお役立ち講座@としょかん「成年後見制度と相続」
 - ・ 「ブックカーニバルin鎌倉」へ写真展示・協力・出店
 - ・ 「本の海サポーターズ交流会」（深沢学習センター）
 - ・ 展示 鈴木正一郎写真展「鎌倉の今昔」（中央図書館）
 - ・ 16mm 映写機操作技術認定講習会
- 7 月
 - ・ 平成 27 年度第 1 回図書館協議会開催
 - ・ 市内小中学校教職員対象の図書館実務研修を開催（全 3 日間）
 - ・ 「としょかんいんになってみよう（一日図書館員）」開催
（全館 7 月 30 日まで）
 - ・ 夏休み親子映画会（中央図書館）
- 8 月
 - ・ 「ぬいぐるみのおとまり会」開催（中央図書館）
- 10 月
 - ・ おはなしボランティア養成講座開催（腰越学習センター）
 - ・ 平成 27 年度第 2 回図書館協議会開催
 - ・ ファンタスティック☆ライブラリー 104 を開催（10 月 18～11 月 4 日）
 - ・ 「かまくら図書館だより」第 115 号発行
- 11 月
 - ・ 鎌倉駅地下道ギャラリー 50 展示「鎌倉の谷戸」
- 12 月
 - ・ 手話つきおはなしかい開催
 - ・ 暮らしのお役立ち講座@としょかん「成年後見制度ってなあに？」

平成 28 年

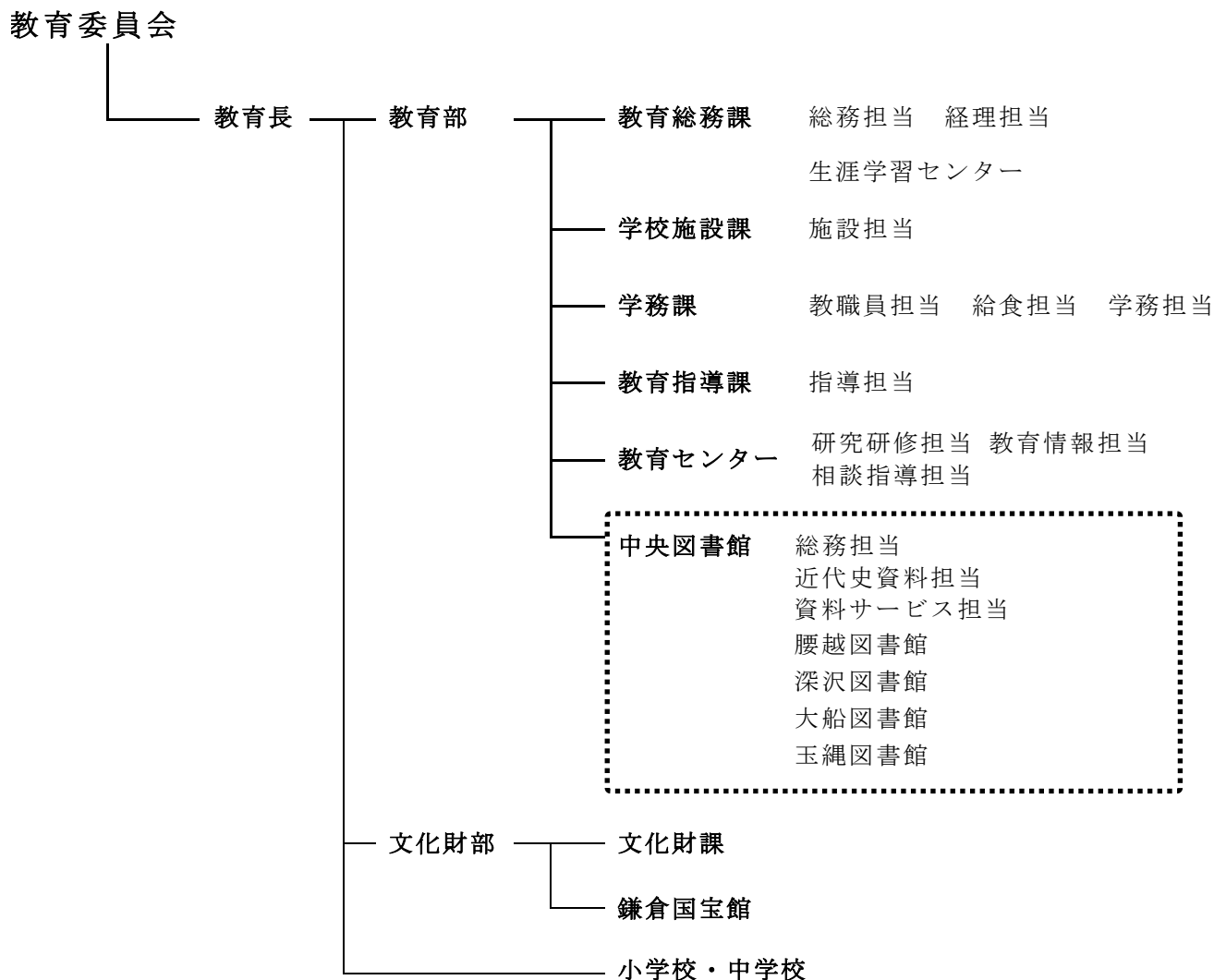
- 1 月
 - ・ 冬休みこども映画会（中央図書館）
 - ・ 湘南地区図書館連絡会開催
 - ・ 平成 27 年度第 3 回図書館協議会開催
- 2 月
 - ・ 今昔写真展「鎌倉を見つめた写真家たち－鈴木正一郎 28 年間の記録を中心に－安田三郎・皆吉邦雄の 3 人展」（鎌倉生涯学習センター地下市民ギャラリー）
 - ・ サイエンスカフェ「助けあって生きていこう：共生の世界」
 - ・ 鎌倉市川喜多映画記念館連携講座「映画が恋した世界の文学」
 - ・ 「かまくら図書館だより」第 116 号発行
 - ・ おはなしボランティア STEP UP 講座開催（深沢学習センター）
- 3 月
 - ・ 利用者懇談会「バックヤードツアー&図書館で語ろう」
 - ・ 小・中学生によるおすすめの本ポップ大賞展
 - ・ 国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への多くのデータ登録に対し、国立国会図書館長より 2 年連続で御礼状授与
 - ・ 平成 27 年度第 4 回図書館協議会開催
 - ・ 大東建託から絵本の寄贈

2. 機 構

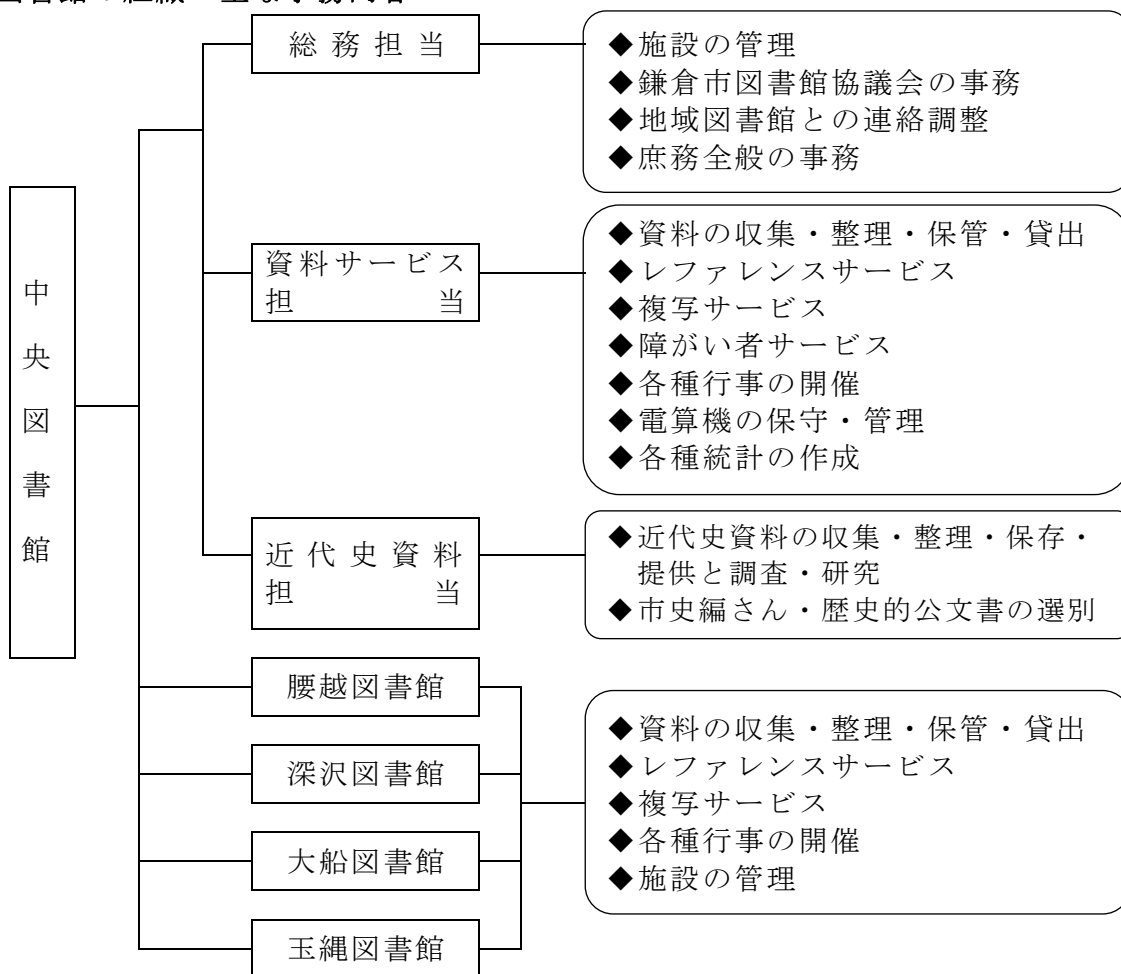
(1) 教育委員会機構図

図書館は、市長とは独立した執行機関である教育委員会教育部に属する機関です。

(平成28年4月1日現在)



(2) 図書館の組織・主な事務内容



(3) 図書館職員

(平成28年4月1日現在)

	職 員	嘱 託 員
中央図書館長	1	
総務担当	1	2
資料サービス担当	8 (2) [再2]	13
近代史資料担当	(1) 資料サービス担当と兼務	4
腰越図書館	3	6
深沢図書館	3 (1)	6
大船図書館	3	6
玉縄図書館	3	6
計	22人 (3人)	43人

* 資料サービス担当中、(2)は育児休業中の職員が2人、[再2]は再任用職員が2人(職員1人分の勤務)。深沢の(1)は育児休業中の職員が1人。近代史資料担当の(1)は資料サービス担当のうちの1人と兼務。職員総数のうち司書有資格者21人、図書館業務嘱託員総数のうち司書または司書補有資格者は30人

(4) 図書館内各種委員会

鎌倉市図書館では、各種サービスや運営方法を各種委員会で検討・実施しています。

① 館長会議

図書館運営に関わる決定機関です。各種会議の報告や各館の情報交換も行っています。市内5館の館長及び係長以上の職員で構成されています。

② 児童奉仕委員会

0歳からの子どもと、子どもを取り巻く大人へのサービス全般を担当しています。

- ・ おはなし会、おひぎにだっこのおはなしかい、あかちゃんと楽しむおはなしかいの定例行事を開催しています。
- ・ 小学生向けの「なつやすみにおすすめのほん」のリストを作成しています。
- ・ 年齢別におすすめする本のリストを作成・発行・配布しています。
- ・ 学校との連携を進めています。おはなし会、ブックトークなどの訪問サービスや教職員・PTAが主催する講座、研修会に講師を派遣する等、講座・講演会を実施しています。
- ・ 市の関連課と連携してブックスタート事業を実施しています。
- ・ 子どもへのサービスをより充実させるため、ボランティアを養成しています。

③ 資料管理委員会

図書・雑誌・新聞・AV等の資料の管理を行う委員会です。

- ・ 「鎌倉市図書館資料管理方針」（平成13年9月）および「鎌倉市図書館資料管理基準」（平成16年10月・22年4月一部改定）に基づき、資料の収集・保存・除籍等の基準の策定、見直し、管理を行います。
- ・ 雑誌・新聞の新規購入・寄贈受入・中止について検討をします。
- ・ 図書の選定会議を定期的に行っています。

④ 運用委員会

よりよい図書館サービスのため、サービス提供の方法等を検討する委員会です。

- ・ 貸出・登録・予約等のサービスやカウンター業務がスムーズに行われるように運用方法を検討します。
- ・ 「図書館の自由」に関わる問題が起きたとき、対応を検討します。
- ・ 個人情報保護の側面から図書館業務を検討します。

⑤ PR委員会

より図書館に親んでもらうため、広報活動を行う委員会です。

- ・ 館報「かまくら図書館だより」や「テーマ別本のリスト」を編集・発行しています。
- ・ 図書館利用を促進するための配布物の作成、行事の企画・実施をしています。
- ・ ホームページ、ツイッターの企画・更新をしています。

⑥ YA委員会

ヤングアダルト（10代）層に図書館や本に親んでもらうための企画を立案・実施する委員会です。コーナーの整備やイベント企画をしています。

3. 図書館協議会

図書館協議会は、図書館の管理運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館サービスについて館長に意見を述べる機関です。

図書館法の定めにより設置され、社会教育関係者、教育関係者、学識経験者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、市民公募による者の5名で構成されています。

開 会 日 時	主 な 審 議 ・ 報 告 事 項 等
第 1 回 7 月 9 日 (木) 10:00～11:15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営について（諮問・審議） ・ 鎌倉市図書館の事業における平成26年度の重点項目とその成果及び平成27年度の重点項目について（検討） ・ 平成 27 年度図書館事業予算について（報告）
第 2 回 10月14日(水) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営について（審議） ・ ファンタスティック☆ライブラリーについて（報告） ・ 国際観光都鎌倉市観光鳥瞰図のお披露目展示会報告（報告）
第 3 回 平成28年 1 月 27 日 (水) 10:00～12:20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営について（審議） ・ 平成27年度郷土資料展の開催について（報告）
第 4 回 3 月 25 日 (金) 10:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鎌倉市図書館の運営について（審議） ・ 鎌倉市図書館の事業における平成 27 年度の重点事項とその成果及び平成 28 年度の重点項目について（検討） ・ 平成 28 年度の図書館休館日について（報告）

委員名簿（定数5名）

（敬称略）

任 期	氏 名	職 業 又 は 役 職	選 出 区 分
平成26年12月15日 ～ 平成28年12月14日	1 田中 康正	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	鍛冶 哲郎	鎌倉女子大学教授	学識経験者
	2 杉本 晴子	作家	社会教育関係者
	3 大嶋 一成	鎌倉市立第一小学校校長	学校教育関係者
		越川 雅之	鎌倉市立稲村ヶ崎小学校校長
	4 杉山 恵子	鎌倉市図書館おはなしボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
5 小林 美香	市民	市民公募	

田中委員は平成27年5月11日まで、鍛冶委員は平成27年5月12日から
大嶋委員は平成27年6月17日まで、越川委員は平成27年6月18日から

4. 鎌倉市図書館一覧

	中央図書館	腰越図書館	深沢図書館
所在地	御成町20-35	腰越864 (腰越行政センター内)	常盤111-3 (深沢行政センター内)
☎ F A X	☎ 25-2611 FAX 24-6544	☎ 33-0711 FAX 設置なし	☎ 48-0022 FAX 43-5676

開館年月	旧：1911(明治44)年 7月 新：1974(昭和49)年 10月	1999(平成11)年3月	1980(昭和55)年5月
------	---	---------------	---------------

対象地域人口 (平成28年4月1日現在)	46,613人	24,489人	33,651人
-------------------------	---------	---------	---------

面 積	一般コーナー	575㎡	270㎡	380㎡
	児童コーナー	143	130	126
	ブラウジング コーナー	56	35	42
	A Vコーナー	58	-	-
	書 庫	314	92	168
延床面積(その他含)		2,576㎡	684㎡	820㎡

閱 覧 席	一 般	104	16	12
	児 童	18	7	6
	そ の 他	11	29	25
	計	133席	52席	43席

※その他…ソファ、長イスなど

大船図書館	玉縄図書館	計
大船2-1-26 (大船行政センター内)	岡本2-16-3 (玉縄行政センター内)	
☎ 45-7710 FAX 設置なし	☎ 44-2218 FAX 設置なし	

1982(昭和57)年10月	1987(昭和62)年4月
----------------	---------------

42,988人	24,897人	172,638人
---------	---------	----------

190 m ²	224 m ²	1,634 m ²
135	123	657
40	72	245
8	—	66
—	—	574
462 m ²	512 m ²	5,054 m ²

6	17	155
12	12	55
24	17	106
42席	46席	316席

予算の主な内訳

- 一般会計：鎌倉市全体の予算
- 報酬：図書館協議会委員・各館の図書館業務嘱託員への報酬など
- 報償費：図書館行政協力者への謝礼など
- 需用費：予算一覧表内訳のとおり
- 消耗品費：この中に図書館資料（本・雑誌・新聞・AV資料）や、文具類の購入費が含まれます
- 印刷製本費：写真資料の複写・バーコードラベルの印刷費など
- 役務費：予算一覧表内訳のとおり
- 手数料：図書館建物の維持管理のための経費。各種機器の保守点検など
- 使用料及び賃借料：主に図書館の全コンピューターシステム稼働の費用
- 負担金補助及び交付金：日本図書館協会や神奈川県図書館協会の分担金など
- 積立金：鎌倉市図書館振興基金への積立金など（寄附金額）

※ 図書館費には、一般職員の給料、職員手当などは含まれていません

(2) 資料購入費

図書館の予算のうち、資料購入費は次のとおりです。

図書館資料には、図書のほか雑誌、新聞の購入費等を含みます。

単位：円

		平成27年度		平成28年度
		当初予算	決算	当初予算
中央図書館	図書資料費	19,004,374	17,423,644	19,695,108
	AV資料費	100,000	108,214	100,000
	計	19,104,374	17,531,858	19,795,108
腰越図書館	図書資料費	1,373,982	1,605,125	1,674,580
深沢図書館	図書資料費	1,680,262	2,222,248	2,021,080
	(うち学校貸出)	(350,000)	(509,111)	(350,000)
大船図書館	図書資料費	1,540,881	2,091,489	1,738,172
玉縄図書館	図書資料費	1,359,984	1,608,685	1,657,748
全館計	図書資料費	24,959,483	24,951,191	26,786,688
	AV資料費	100,000	108,214	100,000
	計	25,059,483	25,059,405	26,886,688

※ 平成27年度から、新聞、雑誌、学校貸出等一部を除き、中央図書館での集中執行としました。

6. 平成 27 年度の主な事業実施報告

新規事業

(1) 図書館振興基金の活用と郷土資料の収集活用方法の整備

＊ サービス計画…方針Ⅱ鎌倉ならではの図書館—1 地域資料・情報

● 具体的な事業

- ・ 基金活用購入資料の展示会報告会

平成 23 年 10 月に設置した基金を活用し、初めて購入した資料が中村慈郎作「国際観光都鎌倉市観光鳥瞰図」絹本彩色原画一幅です。金額は、507,600 円（消費税額を含む）でした。

この資料は「まくり」を仮巻にした状態だったので、資料保存を第一義に、展示もしやすい額装にしました。額装費用は、149,904 円（消費税額を含む）でした。

平成 27 年 10 月 5 日～13 日までの 9 日間、中央図書館 3 階多目的室で、この資料の「お披露目展示会」を開催しました。振り込みによって基金に協力してくださった方々に事前に招待状をお出しし、教育長が謝辞を申し述べるとともに作品を絵葉書にしたものを進呈し、さらなるご協力をお願いしました。

一般公開では、作品が観光に関わるものであるため、『新編鎌倉志』等関連資料もあわせて「資料に見る観光都市鎌倉」として展示会を開催しました。作者中村慈郎の関係者、鳥瞰図研究者等も含めて 300 人以上の方に見ていただきました。

- ・ 関東地区公共図書館協議会研究発表大会で事例発表

平成 27 年 6 月 19 日、かながわ県民センターにて「鎌倉市図書館における図書館振興基金の導入と活用について」を事例発表しました。

- ・ デジタルアーカイブの充実

昨年度末のシステム更新により、ホームページから写真資料の検索も可能となり 322 点の資料を登録・公開し、今年度は鈴木正一郎氏撮影の写真 147 点を登録・公開しました。

(2) レファレンスサービスの充実

＊ サービス計画…方針Ⅰ図書館は生涯学習の拠点—3 資料・情報の提供—(2) 課題解決の支援

● 具体的な事業

- ・ レファレンス事例を図書館ホームページ・利用者用 O P A C から検索が可能になり、41 件のレファレンス事例を公開しました。
- ・ Eメールレファレンスに回答を開始し、29 件の Eメールレファレンスに回答しました。

(3) 図書館利用に障がいのある方に対する支援の充実

* サービス計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援— (4) 図書館利用に障害のある方に対する支援

● 具体的な事業

- ・ 障害者差別解消法施行（平成 28 年 4 月）に向けた館内環境整備
わかりやすい表示とピクトグラムをトイレやイベント受付表示で活用しました。
- ・ マルチメディア DAISY の学校貸出を開始しました。
- ・ 職員が専門研修（視覚障害援助ボランティア入門講座 1 名受講）を受講しました。
- ・ 多言語おはなし会（1 回 64 名受講）、バリアフリー（手話付）おはなし会（2 回 22 名参加）等を実施しました。
- ・ 全職員・嘱託員を対象に館内研修（1 回 60 名受講）を実施しました。

(4) 学校支援の充実

* サービス計画および子ども読書活動推進計画…方針Ⅰ 図書館は生涯学習の拠点—2 利用者に応じた読書の支援— (1) 子どもの読書環境の推進

● 具体的な事業

- ・ 学校貸出の依頼増加
調べもの用の学習パック貸出 47 件で前年度より 6 % 増、学校貸出 90 件で 15 % 増、読み物中心の子ども読書パック貸出 110 件で 30 % 増となり読み物の貸出が顕著に増加しました。
- ・ 搬送の委託業務の予算がつき、今年度から業者による月 1 回の搬送が可能になりました。

継続事業

(1) 地域との連携

* サービス計画…方針Ⅱ 鎌倉ならではの図書館—3 地域との連携

● 具体的な事業として

- ・ 雑誌スポンサー制度の P R を行い、応募業者を募りました。
- ・ 図書館資源を生かした団体等との協力事業
鎌倉国宝館・神奈川県行政書士会・社会福祉協議会成年後見センター・理研よこはま・鎌倉市川喜多映画記念館等との協力イベントを開催しました。

(2) 市民協働による図書館振興事業

* サービス計画…方針Ⅲ 市民とともに創る図書館—1 市民参画と協働

● 具体的な事業として

- ・ 「ファンタスティック☆ライブラリー」による図書館活動の P R と活性化
今年度は 10 月 18 日～11 月 4 日の約 2 週間にわたり開催しました。市民団

体と図書館とで構成される実行委員内で「資料保存」と「バリアフリー」をテーマとして、18のイベント（映画会、展示、カフェなど）を行い、延べ970名の参加がありました。行事の詳細は本書P36①の表を参照してください。

- 映画会、展示、カフェなど

図書館主体のイベント開催のほかに、一年を通して協力団体とともに様々な行事を行っています。行事の詳細は本書P37②の表を参照してください。

- 利用者懇談会での市民との意見交換

ワールドカフェ形式で「私の図書館の利用法」「図書館でしたいこと」について意見交換をしました。9名の参加があり、今後の図書館活動において参考になる意見を聞くことができました。

- 市民ボランティアによる図書館の破損本の修理

ボランティアの方々に図書館の本の修理やフィルムコーティングをしていただいています。今年度は本の修理講座を9回開催し、新たにボランティアとして活動していただける方への講習を行いました。

なおファンタスティック☆ライブラリーでは壊れた本を展示して、公共の財産としての図書館資料を大切にしてほしいことを訴えました。

7. 平成 28 年度の重点事業

1 鎌倉市民も横浜市図書館が利用できるようになります（開始時期未定）

横浜市との相互利用協力の協議を進めます。

これまで三浦半島の自治体同士・藤沢市と広域利用を行ってきましたが、横浜市との相互利用協力をすすめて、鎌倉市民が横浜市の図書館カードを作り、直接借りることができるようにします。横浜市民も鎌倉市の図書館カードを作ることができるようになります。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成 26 年～30 年）の「I 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築」に基づく事業です。

2 各地域のニーズ調査を行います

地域の状況に沿った利用しやすい開館日、開館時間の検討のため、地域別時間帯別の入館者数（入館者カウンター設置）を調査します。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成 26 年～30 年）の「I 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築」に基づく事業です。

3 鎌倉ならではのサービスコンテンツを作り、発信します

鎌倉の昭和を記録した鈴木正一郎写真資料デジタルアーカイブの公開

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成 26 年～30 年）の「II 鎌倉ならではの図書館－2 図書館からの情報発信」に基づく事業です。

4 図書館利用のプライバシーをますます守ります

今までより一層、図書館システムネットワークのセキュリティを強化します。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（26 年～30 年）の「I 図書館は生涯学習の拠点－1 図書館ネットワークの構築」に基づく事業です。

5 鎌倉市の子どもたちと本や図書館をむすびつける環境を整備します

鎌倉市には「鎌倉市子ども読書活動推進計画」がありますが、今までの成果を確認し、第三次子ども読書活動推進計画の準備をはじめます。第一次計画は平成 20 年度、第二次計画は同 25 年度に始まりました。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成 26 年～30 年）の「I 図書館は生涯学習の拠点－2 利用者に応じた読書の支援－（1）子どもの読書環境の推進」に基づく事業です。

6 図書館利用に障がいのある方へのサポートを充実させます

ピクトグラムの活用で館内掲示をだれにもわかりやすくするなど環境整備や職員の研修（手話研修、意識向上）につとめます。

※ 鎌倉市図書館サービス計画（平成 26 年～30 年）の「I 図書館は生涯学習の拠点－2 利用者に応じた読書の支援－（4）図書館利用に障害のある方に対する支援」に基づく事業です。